

第42回

連盟評議員会開催さる



平成17年
3月31日
第120号

発行所
広島県歯科医師連盟
広島市中区宝町5-30
TEL (082) 241-8020
編集兼発行人 枘田博昭



日歯連盟会費は一万円引き下げ

平成十七年三月五日(土)午後四時より県歯会館六階「ハーモニーホール」に於て、標記の会が開催された。平成十七年度事業計画・予算など第七号議案までの議案が可決承認された。またこの中で任期満了に伴う新役員は本山会長に一任されることが決定した。日歯連盟関係では、会費三万三千元が二万三千元へ引き下げられる予定であると報告があった。

評議員会は、氏名点呼録署名者に佐々木元(呉)、藤井春男(東広島)七名の出席を得て成立の両評議員が指名され、森本克廣議長と高橋康友副議長の進行のもと、小松昭紀副会長の開会の辞が始まった。議事



挨拶する本山会長

次の本山会長より「本日はご多用の中御出席いただき誠にありがとうございます。六つの改革目標が掲げられ、会費は三万三千元から二万三千元に値下げられる予定である。日歯連盟規約の見直しもされているがこれに合わせて県歯連盟規約の見直しをしていこうと思っている。この度、従来広島市支部で組織されていた林県議の後援会を、広島県歯科医師連盟林正夫後援会と改称し、県歯連盟で運営していくことにした。後援会を独立させると政治団体の届出が必要であるが、県歯連盟内に置けば、新たな政治団体としての届出は必要ない。また林県議は、本連盟の常任顧問であり、本会の県費補助金の獲得などに多大なご尽力をいただいております。その後援会は県歯連盟が運営していくのが妥当であるという判断が

ら、このような形にしたことをご了承いただきたい。本年四月から施行される個人情報保護法については、各医療機関や郡市支部へ波及する問題への対応を検討していきたい。本日は平成十五年度決算ならびに平成十七年度事業計画及び予算のご承認を承りますようよろしくお願い申し上げます。と挨拶があった。

続いて報告事項に入り、山科理事長より

- 一 一般会務報告
- 二 会計現況報告
- 三 日歯連盟関係報告
- 四 その他

について報告があった。

次に議事事項の審議に入り

- 第一号議案 平成十五年度広島県歯科医師連盟ならびに自民党広島県歯科医師支部、大島よしひさ、中原爽広島後援会に関する件
- 第二号議案 役員改選に関する件
- 第三号議案 平成十七年度会費賦課額並びに徴収方法に関する件
- 第四号議案 平成十七年度事業収支予算案の承認を求める件
- 第五号議案 役員改選に関する件
- 第六号議案 監事改選に関する件
- 第七号議案 顧問の委嘱に関する件
- 第八号議案 その他の案

以上、賛成多数により可決承認された。最後に高橋潤一郎副会長長の閉会の辞で終了した。

平成17年度事業計画

第二号議案

1. 基本方針

昨年は、度重なる台風の本土襲来、新潟中越地震、アメリカのハリケーン被害、スマトラ沖地震やイラクを中心としたテロの恐怖等、天災、人災が国内外の各地で頻発したところである。国内にあっては、昨夏の参議院議員選挙における民主党の大躍進や小泉内閣が断行してきた構造改革も陰りを見せるなど、政局も益々混沌してきている。このような状況下で、政府が押し進めていた混合診療の導入を、医師会を始めとする医療関係団体が一致団結して署名運動やロビー活動を行った結果、阻止できたのは連盟活動の結実の一つであると評価するものである。昨春の日歯連盟における政治資金規正法違反事件等は、金権体質の改革の必要性和、中央依存型から都道府県主導型政治活動への転換期であることを顕著に裏付けるものであり、県歯連盟活動の重要性を改めて痛感しているところである。本年も、引き続き連盟員の安定した医院経営を確保することを最優先課題として、業権確保に寄与・貢献していただける議員を積極的に支援していく所存である。また、本年11月に任期満了となる広島県知事選挙に当たっては、歯科医療への理解と施策をいただける候補を全面的にバックアップしていくものとする。

2. 事業項目

- (1) 連盟員の相互協力体制の確立と団結力の醸成に関する事項
- (2) 各郡市支部の連盟活動に対する支援に関する事項
- (3) 連盟広報活動に関する事項
- (4) 関係機関の医政問題に関する事項
- (5) 日本歯科医師連盟との連絡調整に関する事項
- (6) 自由民主党職域支部及び職域代表候補者広島県後援会の事業活動への協力に関する事項
- (7) 推薦国会議員、地方議会議員及び首長選挙における本連盟推薦候補者に対する支援活動に関する事項
- (8) 推薦国会議員、県議会議員、市町村議会議員及び首長との連絡調整に関する事項
- (9) その他政治的問題に関する事項

平成十六年度 第三回理事会開催

二月十七日(木)午後五時より県歯会館四階「会議室」に於て、標記理事会が開催された。谷本副会長の開会の辞で始まり、本会長より「現在、新生日本歯科医師会・新生日歯連盟に向けて様々な改革が行われようとしています。日歯連盟改革の骨子も中間報告が出され徐々に決まってくるものと見られます。日歯連盟については会長選を直接



理事会風景

ばなりません。そのために日歯連盟の今後の方針としましては、自民党の職域支部として自民党の先生ばかり推してきた体制を改め、党派にかかわらず、歯科医療に対する理解度の高い、行動力のある先生を推していくといった方向に変わってきております。また、連盟に研究機関を設け政治活動を考えております。日歯連盟の規約の見直しも考えられておりますが、それに合わせて日歯連盟の規約も見直しをしなければならぬと考えております。今年四月から個人情報保護法が施行されるので、連盟としてこのようなことも対応していかなければならないと思っております。連盟活動の重要性については、昨年の混合診療導入の反対運動の成果を見てもわかりますように、改めて申し上げます。改めまして、我々の業権確保のためにも御協力をお願いいたします。本日は平成十五年年度決算閉会の辞で終了した。

連盟会務報告

(平成十六年十一月一日〜平成十七年二月二十八日)

- 11.11.11 亀井郁夫参議院議員励ます会
11.11.11 中川秀直代議士を囲む政経セミナー
11.11.11 寺田稔君を励ます会
11.11.11 第二回連盟臨時理事会
11.11.11 第四十一回連盟臨時評議員会
11.11.11 岸田文雄君を激励する会
11.11.11 日歯連盟常任理事会・理事会
11.11.11 日歯連盟監事打合せ会
11.11.11 亀井静香代議士と懇談
11.11.11 日歯連盟常任理事・理事合同会議
11.11.11 連盟ニュース一八九号発行
11.11.11 広島県政経懇話会自由民主党安芸第一支部新年互礼会
11.11.11 自由民主党広島県第七選挙区支部・宮澤洋一後援会合同新年互礼会
11.11.11 日歯連盟常任理事・理事合同会議
11.11.11 第三回連盟理事会
11.11.11 日歯連盟常任理事・理事合同会議

平成15年度 広島県歯科医師連盟会計収支決算書

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 収入済額, 予算との差額, 摘要. Total income: 45,101,000; Total expenditure: 50,679,918.

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 支出済額, 予算との差額, 摘要. Total expenditure: 45,101,000; Total income: 50,640,359.

平成17年度 広島県歯科医師連盟会計収支予算書

Table with 5 columns: 科目, 平成17年度予算額, 平成16年度予算額, 増減額, 摘要. Total budget: 33,015,000; Total previous year: 36,443,000.

Table with 5 columns: 科目, 平成17年度予算額, 平成16年度予算額, 増減額, 摘要. Total budget: 33,015,000; Total previous year: 36,443,000.

(上記支出科目中、款内各項間の流用はこれを妨げない。)